地域密着マガジン

UHU

はじめに

2017年4月発行 製作:ネダテ住建

ようやく暖かくなり春の訪れが肌で感じられる季節となりました。

春と言えば別れの季節でもあり、新たな出会いの季節と言われますが、 新年度を迎え、新たな気持ちで2017年度のスタートを切る方も多いのではないでしょうか。

ネダテ住建では、地域密着をより深めていくために、ひとつひとつの出会いを大切に、 2017年度も張り切って参りたいと思います。

一人でも多くの地域の皆様にN-JOHO局を読んでいただけますよう、尽力して参りますので、 今後ともネダテ住建を宜しくお願い致します。

当社は「安心をつくります」という言葉を 家という形で作っていく工務店です。

ご相談・設計見積等はもちろん無料です。

小さな修繕から増改築・新築等 地場の私共にお任せ下さい。



LIXILリフォームショップ

株式会社ネダテ住建

90120-131-556

横浜市磯子区岡村1-3-15

TEL: 045-752-1034 FAX: 045-753-5198

Mail: j.nedate@triton.ocn.ne.jp HP: http://www.nedate-j.com/



副編集長のコラム ~春のジョグ~

卒業、ちょっぴり寂しい。 入学、入社、希望が膨らむ陰で不安がいっぱい。

身体を動かすことが大好きな私の趣味の一つに ジョギングがあります。

7年前、消防団の仲間の加藤さんが 「神奈川マラソン」の出場を勧めてくれました。 毎年2月、磯子駅東側で開催されるハーフマラソン大会

それまでは、ただ走っているだけでしたが、その瞬間か ら目標ができました。

そして今年で6回目の出場となりました。 練習をしつかり出来た年は自分に挑戦します。 今年も挑戦しましたが、目標には及びませんでした。

1時間51分01秒(目標は1時間45分) 「50才代男子」の部 545位/1047人中

寒い季節はジョギングに出るにも着込みながら勇気を振 り絞ります。気候が良くなると軽装で軽い気持ちで出られ

・・皆さんもよろしければ森林公園あたりでジョグデビュー されては・・

追伸、当社のお客様に、神奈川マラソン同部門で3連 覇された方がおられます。

関係ない私ですが、お客様というだけで、 誇りと感じさせて頂いております。

HOUSE OF THE YEAR IN ENERGY2016 HOUSE 優秀賞受賞 NENERGY 2016

ハウスオブザイヤーとは・・・

建物の断熱性能及び機密性能、住宅設備機器及びエアコン・照明器具等のエネルギー 設備機器を一体として捉え、総合的に省エネルギー性の優れた住宅を表彰する制度です。 つまり、建物の性能と住宅設備を合わせて、総合的に省エネルギー性の高い住宅を評価 するとともに、省エネ住宅に対する取り組みを評価する制度のことです。

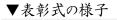
★下記3つの評価の視点を満たす住宅に贈られます

視点1:外皮設備の省エネルギー性能

視点2:多様な省エネルギー手法の導入

視点3:省エネルギー住宅の普及への取り組み

今年初めての受賞となりましたが、今後も省エネ住宅を推奨し 快適なお住まいを提供していきます。





≪磯子区 I様邱≫ 新築



◆SW工法だから可能な2階天井吹き抜けの 解放感のあるダイニングキッチンのうづくりの床に浮かぶ アイランドキッチンの黒。 誰もが心ひかれる住宅が誕生!!

新築 《磯子区 Ⅰ様郎》

◆2 F バルコニー側から望むLDK 窓際の吹き抜けにより、明るく開放的な空間を実現。 キッチンの奥に水回りを設け、空間的な奥行を いっそう感じられる空間となりました。



2016年度 ネダテ住建

新築&リフォーム 施工事例のご紹介

リフォーム 《鎌倉 T様邱》 ◆築53年の住宅をフルリフォーム◆

新築二世ってなあに?

After

単なる原状回復のための全面リフォームではなく、LIXILリフォームショップの技術力で 最新の性能をプラスすることで、より快適で安心な暮らしができる全面リフォームです。









Before



53年前の住宅をリフォームでここまでできる!

建築業界でご活躍される施主ご夫妻とネダテ住建の 渾身のコラボレーション!

- ◆元の間取りを生かした便利な家事導線 キッチンのワークトライアングル
- ◆リフォームで住宅の性能をアップ 高気密・高断熱住宅 耐震性能

C値2.6 UA値0.66相当

耐震等級2相当

葛城峻先生執筆 第21回 私のまち再発見

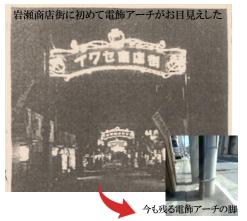
四間道路にみんなびつくり・・・区内最初の計画道路

根岸橋近くの横浜信金から岡村に抜けるバス通りが「四間道路」です。 道路の四間(7.2メートル)など今どき珍しくありませんが、当時の道路幅は どこも一間程度でしたから、「四間」とはかなりの驚きだったのです。

大正7年の「都市計画法」に基づき「市区改正局」が設置され、大正12年に市長から「31路線新設改修計画」が出され、総工費2,300万円で施工されることとなりました。ところがその矢先9月1日に襲った大震災で折角の計画が中断となりましたが、これを機に入り組んだ街並みの区画整理が始まり、道路も大幅に拡張されることとなりました。

震災前の計画書に「根岸町字広地刑務所南隅電車通リヨリ岡村町字仲ノ町137番地に至ル道路」の新設が掲げられています。「幅員10間、延長660間、事業費44万円」とありますが、これが区内の近代的公共道路のはしりでした。660間は1,200メートル弱ですから16号線の入口から、天神前バス停までの距離に合致します。「刑務所南隅電車通リ」とあるのは横浜信金のところではなく、滝頭ケアプラザから斜めに16号線に向かって進む道です(今は途中でとぎれていますが市電工場の塀に沿うこの道が「本局」前から電車に乗るための最短コースでした)。驚くのはこの計画では「四間」道路どころか倍以上の10間(18メートル)の幅員だったことです。いま屏風ヶ浦から港南区に抜ける環状二号線は四車線で標準幅17メートルですから、もしこの7計画が順調に進んでいたら滝頭・岡村の中央に高速道路なみの幹線が走ったわけです。









震災は計画を大頓挫させました。優先すべきものばかりで必要以上に広い道路をつくるわけには行きません。昭和4年7月に市から国あて「復興砂利面工事施工状況報告書」が出されますが、その中の「査定番号31岡村町」の頁には延長352.55間の面積約1,097坪を昭和4年3月2日から8月28日にかけて施工したとの記録があります。範囲の記載がありませんが、この長さは635メートルで16号線から岡村中学までの距離に当たります。この区間が何よりも優先されました(53年道路局発行の冊子「愛称道路では今でも「四間道路」とは正式には16号線から岡村中学までのバス通りとしています)。

震災復旧には膨大な費用がかかり市は四苦八苦でした。他の主要道は 丈夫な「コンクリート舗装」でしたがここでは「ビチュマルス舗装」です。今は 死語ですが「アスファルト」が導入される前の割安な道路舗装材でした。交 通量が他より少ないここでは材料を1ランク落とし費用を工面したのでしょう (ちなみに天神橋と中村橋間の根岸側にある「東亜道路工業株式会社」の 昔の社名は「ビチュマルス工業」でした。)

最終完通ははっきりしませんが昭和ひと桁の時代の後半でしょう。江戸時代からの寒村が一躍「大横浜」の一部に昇格しました。「よろず屋」程度のお店しかなかった町に専門店が現れ、四間道路には短期的に商店街が誕生します。これらのお店がやがて岩瀬商店会・岡村共栄界へと成長して行きました(岩瀬には敗戦後に当時最先端のネオン・アーチも建てられました)。昭和10年9月にはこの道路に市営バスが通りました。滝頭・岡村を経て弘明寺までの路線です。翌年8月には保土ヶ谷駅まで延長された鉄道が身近になりました。この前に岡村から蒔田に通ずる切り通しが完成して「たかばし」が架かり、バス道路も「坂上」で塞いでいた「馬の背」を切り裂いて大岡に通じましたから、江戸時代からの「陸の孤島」には二つの切り通しで外の世界の風がやっと入ってきたのです。いま市内のバス道路の中で運転手さんが混雑やカーブで一番苦労しているのがここから弘明寺までの路線だそうですが、計画通りに「十間道路」だったらどれだけ楽なことでしょう。